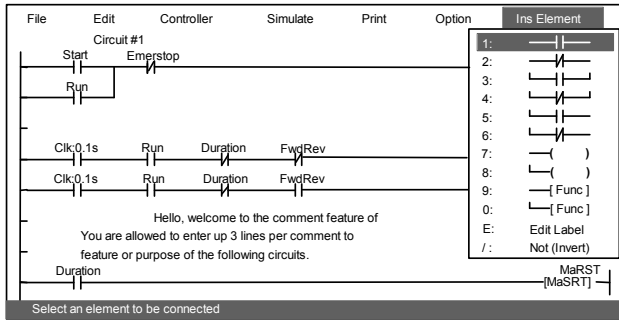
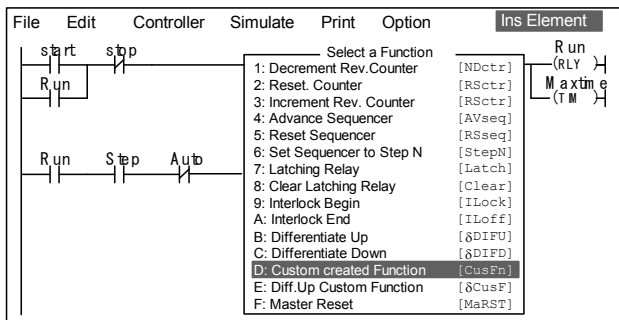


1. 内部要素メニュー [Insert Element Menu]



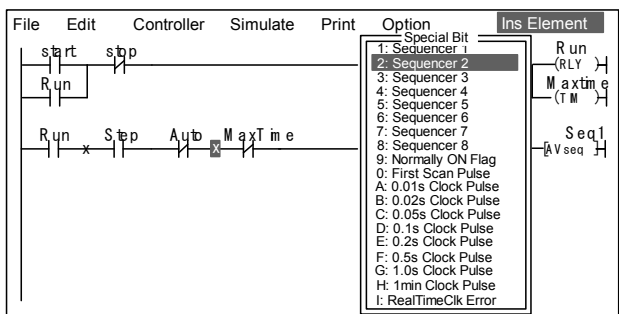
ラダープログラムの作成および編集は<Insert>キーを押してスクリーン上にポップアップされる内部要素記号からアイテムを選択します。1,2 はシリアル接続の NO/NC、3,4 はパラレル接続の NO/NC、5,6 は複数のパラレル接続の NO/NC、7,8 はコイル接続で、9,0 を選択すると次の特殊コイル接続ができます。

2. 特殊機能メニュー [Special Function Menu]



- a. [DNctr] [Upctr] [RSctr] / ダウンカウンタ, アップカウンタ, リセットカウンタ機能は任意のカウンタ機能を設定します。
- b. [AVseq] [RSseq] [StepN] / アドバンスシーケンサ, リセットシーケンサ, ステップ N 機能はカウンタ#1~#8 に設定したシーケンサ機能#1~#8 の 0~31 番のステップカウンタを設定します。
- c. [Latch] [Clear] / ラッチリレー, クリアリレーは出力ビットをラッチ命令でラッチし、クリア命令で解除できます。
- d. [lLock] [lLoff] / インターロック基点, インターロック終点は間の回路はパラレル出力したマスターコントロール回路と同様の制御ができます。
- e. [δ DIFU] [δ DIFD] / 立ち上りパルス, 立ち下りパルスは設定したコイルをワンスキャンタイム実行(ON)します。
- f. [CusFn] [δ CusF] / カスタム関数, 立ち上りカスタム関数は TBASIC でプログラムされた関数(1~128)を実行します。

3. 特殊機能メニュー [Special Bits Menu]



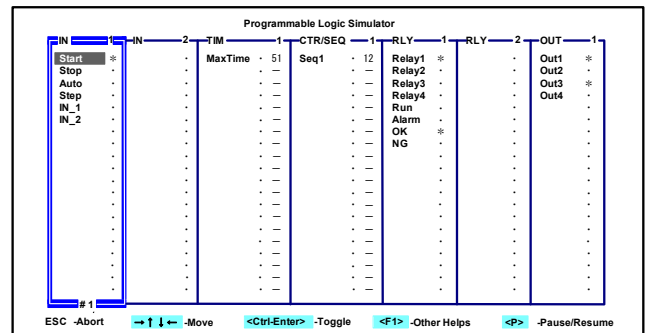
- a. [Sequencer1~8] / シーケンサ機能はカウンタ 1~8 に設定したステップシーケンサ N(1~8)のカウンタ番号 0~31(32)のカウンタ値に相当する各要素(SeqN:0~SeqN:31)を、それぞれ独立した要素として NC/NO 接続で回路を構成できます。

- b. [0.01s~1min Clock Pulse] / 0.01, 0.02, 0.05, 0.1, 0.2, 0.5, 1.0sec および 1min の 8 種類のクロックパルスを NC/NO の要素として回路に設定できます。
- c. [RealTimeClk Error] / リアルタイムクロックエラーは初期設定されたデータが電源またバックアップ異常でリセットされた場合にセットされるフラグです。時間制御プログラム等に使用する場合は確認用に使用できます。

4. カスタム関数 [Custom Function]

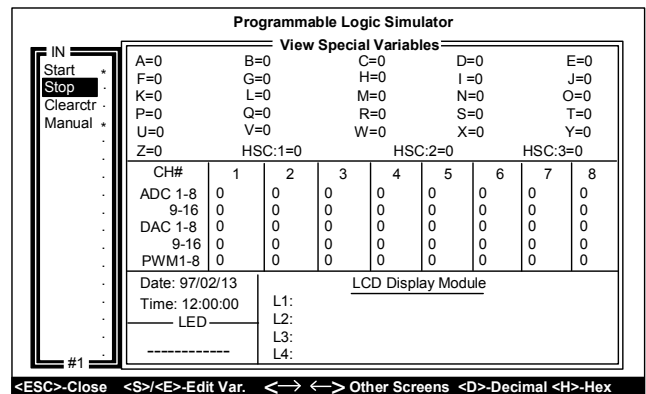
CPU データメモリの演算や専用マルチ機能をコントロールする制御プログラムを、ラダープログラムとは別にカスタム関数として 1~128 まで登録できます。各カスタム関数は専用のエディターウィンドウボックスに簡単な BASIC 言語でプログラムを作成します。エディターウィンドウボックスは通常のテキストエディターのように 1 行 70 キャラクターで最大 60 行作成できます。

5. リアルタイム シュミレーション



作成および編集したプログラムをすぐに TRiLOGI のシュミレーション機能でプログラムの確認ができます。シュミレーション画面は 2×入力, 1×タイマ, 1×カウンタ/シーケンサ, 2×内部リレー, 1×出力の 7 カラムから構成され、各回路の I/O の動作状態によって、右端のインジケータが赤色の "*" で ON "-" で OFF を表示します。任意に動作させたいラベルにハイライトバーを移動させ <Inter> キーを押してトグル切替えると、このラベルの要素を動作/非動作状態にでき、PC スクリーン単体で作成したプログラムのテストを行うことができます。

また TBASIC で構成した 16 ビット Integer 型の変数 A~Z (26 個) の整数データ、A/D, D/A, PWM のデータ値、リアルタイムクロック値、及び A\$~Z\$ (26 個) の String 型文字変数や DM[1]~DM[4000] のデータメモリ値を "View Variables" 変数ビューモニターでリアルタイムに確認できます。



6. オンラインモニターコントロール

ターゲット PLC と PC の RS-232C ポートに専用ケーブルを接続して、PLC の各 I/O, タイマ値, カウンタ値をオンラインでモニターし、各 I/O を強制的に PC 上からコントロールできます。

"We assist advancing technology expansion"

有限会社 アテックス ジャパン

〒224-0001 神奈川県横浜市都筑区中川 1-17-11 唐戸第一ビル 2F
TEL 045-306-8481 FAX 045-306-8485

販売代理店